

公民館だより

No. 100

ひがしの

2007. 10

人口 1,837 人
(男) 906 人
(女) 931 人
世帯数 戸 588 戸
(H19. 9.1 現在)

100号 特集・東野公民館講座の変遷

・公民館広報から東野の歴史の一端に触れる。



水墨画による 『枝に休むはと』

楽しい墨絵の会 会員 西尾 芳 画

「鳩に三枝の礼有り」：小鳩が親鳩より三本下の枝に止まるということから「礼」を重ねずることのたとえ。(日本語大辞典)

『公民館だより』『ひがしの』 発行 100号によせて

岡本勝英

突然、寄稿の依頼を受けてはたと困ってしまいました。

昭和47年の公民館長から10人目の館長を平成17年4月に受け継ぎ、2年間勤めさせていただきました。

昭和14年に建てられた「青年会館」が東野公民館と呼ばれ、生涯学習の場としてスタートした事、公民館長が配置され公民館講座が取り入れられ、講座生募集や「公民館だより」が発行された事、公民館の事は初めて知ることばかりでした。

在任期間2年間でNO 87号からNO 97号を、講座の募集案内や、東野における時折々の話題・出来事など皆様からの寄稿を元に「たより」に載せて発行いたしてまいりました。

一般社会人のころは、何分地域の方々との交流も少なかったもので退職後は「週休7日制」と、思いながらも、地元に着し少しは地域に貢献をとの気持ちで公民館長という畑違いの仕事を引き受け戸惑いと、不安を抱きての出発となりました。

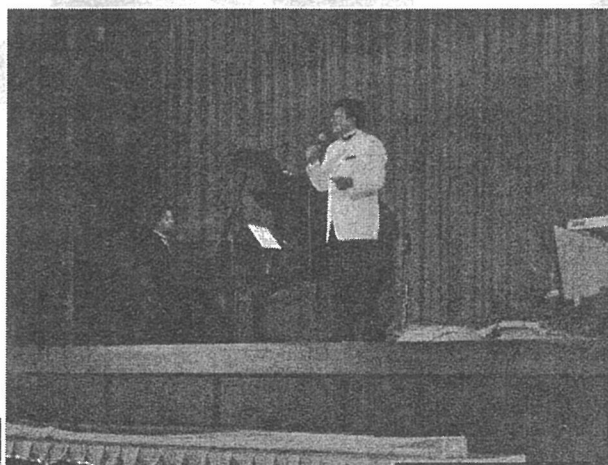
『公民館は市民（住民）にとって生涯学習の拠点である。』館長会議で館長の役割が説明されますます不安が増すばかりでした。

わずか2年間でしたが、人と人とのふれあいを重ねるうち、他人の役に立とうと思っている行為は、他人のためではなく己のために続けている「生き甲斐」だと気付くときがあります。

心と心がふれあうとき、人は誰しも、充実感を覚えるでしょう。『生

涯学習』の場、公民館には人と人との出会いが多く、身近に社会交流の道があると思います。

この「公民館だより』『ひがしの』が、東野住民相互の心の輪をさらに広げ地域のコミュニティとしての公民館に発展していくことを願って発行100号のお祝いとさせていただきます。



平成18年
音楽祭

平成17年
音楽祭



恒例の第二十六回 東野納涼夏祭りが実施される

主催 東野開発振興会・自治連合会・夏祭り実行委員会

後援 東野地域振興協議会・恵那商工会議所・恵那山荘・阿木川ダム

八月十一日(土)、東野公民館前広場にて、午後六時から、好天に恵まれて夏祭りを午後九時十五分まで実施しました。

各事業所、商店及び、皆様方より、御祝儀を賜り真にありがとうございます。また地域振興協議会より多額のご援助を賜りました。

手始めは子どもクイズ、売店、バサラ、大須演芸、盆踊り、抽選会、そして最終を飾る打上花火で終了しました。

夏祭りは、東野の三大祭の第一弾であり、参加者数は抽選会応募者数六百名であることから、推定七百五十名はあったと思います。又他の市町村からも多数の参加があり、故郷東野を大切にして夏祭りを盛り上げてくださって、実行委員会としては大変有難く思っています。

本年は少し志向を変えて、大須演芸を取り入れました。皆さんはいかがでしたか？又お年寄りや幼児の為に腰掛けを三十台。会場周辺が少し暗いと実行委員会の方より指摘があり、行灯十基を購入。これは地域振興委員会の援助として手配を致しました。行灯は張り替えることができ、今年は皆さんの思い出深い絵を貼り付けました。

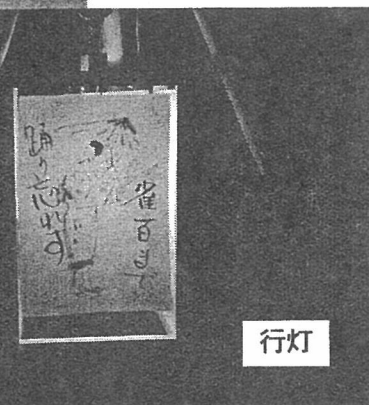
打上げ花火も昨年より少し豪華にしました。売店も自治会長、虹の会、東雲会、振興事務所、中学生のボランティア(青少年育成会)、公民館の皆さんが担当してくださいました。売店も好天の為に思っていたより早く完売することができ、皆様方のご協力の賜と深く感謝を申しあげます。

最後になりましたが、振興会、自治会、実行委員の皆様は早朝から夜遅くまで、夏祭りの準備及び後片付けをしていただき真に有難うございました。これで私の夏祭り実施のご報告と御礼の言葉とさせていただきます。

東野納涼夏祭り実行委員長 伊藤 全孝



大須演芸



行灯

東野公民館講座の変遷

昭和47年12月第1期恵那市民講座

①書道、砂場佳陽②手芸、坪井弥栄子③ペン字、牧野恵翠④千秋流花道、林 俊幸⑤囲碁、鈴木弘道

①書道、山内至鳳②ペン字、牧野恵翠③千秋流花道、林 俊幸④囲碁、鈴木弘道⑤コーラス、遠藤孝夫⑥将棋、特に定めない

48年11月第3期恵那市民講座

①樹木園芸、村木俊夫②書道、砂場佳陽③ペン字、坪井弥栄子④手芸、牧野恵翠⑤千秋流花道、林 俊幸⑥囲碁、鈴木弘道

①俳句、鈴木弘道②民踊、小森さつ子③ペン字、牧野佳翠④手あみ、坪井弥栄子⑤千秋流花道、林 俊幸⑥囲碁、鈴木弘道

49年10月

①俳句、鈴木弘道②民踊、小森さつ子③ペン字、牧野佳翠④手あみ、坪井弥栄子⑤千秋流花道、林 俊幸⑥書道、砂場佳陽

50年4月

①俳句、鈴木弘道②民踊、小森さつ子③ペン字、牧野佳翠④手あみ、坪井弥栄子⑤千秋流花道、林 俊幸⑥書道、砂場佳陽⑦レクレーション、西尾 保

50年10月

①俳句、鈴木弘道②民踊、小森さつ子③ペン字、牧野佳翠④手あみ、坪井弥栄子⑤千秋流花道、林 俊幸⑥書道、砂場佳陽⑦レクレーション、西尾 保

51年5月

①民謡、押村多歌寿②きもの着つけ、千藤美智子③詩吟、西尾晴夫④手あみ、坪井弥栄子⑤千秋流花道、林 俊幸⑥囲碁、鈴木

51年11月

52年11月

弘道
①民謡、押村多歌寿②民踊、小森さつ子③詩吟、西尾晴夫④囲碁、鈴木将司・丹羽六三⑤俳句、鈴木弘道⑥ペーパーフラワー、坪井弥栄子

54年11月

①料理、土方紀代子②ペーパーフラワー、坪井弥栄子③花道、林 俊幸④民謡、押村多歌寿⑤民踊、小森さつ子⑥庭木盆栽、粥川一利⑦囲碁、未定

55年度後期

①料理、②ペーパーフラワー、③花道、④民謡、⑤民踊、⑥庭木盆栽、⑦囲碁
①編物、坪井弥栄子②花道、林 俊幸③民謡、押村多歌寿④民踊、小森さつ子⑤庭木盆栽、粥川一利⑥大正琴、山本まつの

57年度後期

①編物、坪井弥栄子②花道、林 俊幸③民謡、押村多歌寿④民踊、小森さつ子⑤大正琴、山本まつの⑥社交ダンス、田口祐英⑦健康体操、赤尾袈夫

58年度前期

①編物、坪井弥栄子②花道、林 俊幸③民謡、押村多歌寿④民踊、小森さつ子⑤大正琴、山本まつの⑥社交ダンス、田口祐英⑦盆栽、宮川哲也

59年度前期

①編物、坪井弥栄子②花道、林 俊幸③民踊、小森さつ子④大正琴、山本まつの⑤社交ダンス、田口祐英⑥盆栽、宮川哲也⑦俳句、鈴木抱風子

後期

①編物、坪井弥栄子②花道、林 俊幸③民踊、小森さつ子④大正琴、山本まつの⑤社交ダンス、田口祐英⑥俳句、鈴木抱風子⑦茶道、篠原はる

60年度前期

①編物、坪井弥栄子②花道、林 俊幸③民踊、小森さつ子④大正琴、⑤俳句、鈴木抱風子⑥

茶道、篠原はる

後期

①編物、坪井弥栄子②民踊、小森さつ子③大正琴、山本まつの④俳句、鈴木抱風子⑤茶道、篠原はる⑥料理、土方紀代子

後期

①編物、坪井弥栄子②民踊、小森さつ子③大正琴、山本まつの④俳句、⑤茶道、篠原はる⑥料理、土方紀代子

62年度前期

①編物、坪井弥栄子②民踊、小森さつ子③大正琴、山本まつの④俳句、⑤茶道、篠原はる⑥料理、土方紀代子⑦レクレーション、赤尾袈夫

後期

①編物、坪井弥栄子②民踊、小森さつ子③大正琴、山本まつの④俳句、鈴木抱風子⑤茶道、篠原はる⑥レクレーション体操、赤尾袈夫

63年度前期

①編物、坪井弥栄子②民踊、小森さつ子③レクレーション体操、赤尾袈夫④俳句、鈴木抱風子

後期

①編物、坪井弥栄子②民踊、小森さつ子③レクレーション体操、赤尾袈夫④俳句、伊藤公直

後期

①歴史探訪、松本英雄・安藤利道②民踊、小森さつ子③レクレーション体操、赤尾袈夫④俳句、伊藤公直

2年度前期

①歴史探訪、松本英雄ほか②囲碁、鈴木将司③、水墨画、荻野恵三④俳句、丸山益夫⑤自然探訪、樋田久吉

後期

①歴史探訪、安藤利道ほか②水墨画、荻野

恵三③俳句、丸山益夫

3年度前期

①歴史探訪、西田良治・伊藤英晃②水墨画、荻野恵三③俳句、丸山益夫④パッチワーク、山崎清恵⑤ペン習字、藤下湖山⑥和服きつけ、千藤美智代

後期

①水墨画、荻野恵三②俳句、丸山益夫③ペン習字、藤下湖山④和服きつけ、千藤美智代⑤歴史探訪、西尾良治・伊藤英晃・安藤利通

4年度前期

①水墨画、荻野恵三②自然探訪、樋田久吉・森栄一郎③ペン習字、藤下湖山④歴史探訪、西尾良治・伊藤英晃・安藤利通⑤書道、大野恵石

5年度後期

①書道、大野恵石②歴史探訪、…③ペン習字、藤下湖山④太極拳、林美枝子⑤親子クッキング、土方紀代子

6年度前期

①銅版画ときりえ、土方敬雄②水墨画入門、吉村茂夫③書道、大野恵石④ペン習字、藤下湖山⑤太極拳、林美枝子

後期

①銅版画ときり絵、土方敬雄②水墨画入門、吉村茂夫③書道、大野恵石④ペン習字、藤下湖山⑤太極拳、林美枝子

7年度前期

①水墨画入門、吉村茂夫②ペン習字、藤下湖山③銅版画ときり絵、土方敬雄④アートフラワー、丸山いずみ⑤暮らしを楽しむ講座、長瀬勇雄・稲葉世紀子・西尾佐智子

後期

①ペン習字、藤下湖山②銅版画ときり絵、土方敬雄③アートフラワー、丸山いずみ④いきいき体操、体育課指導員

8年度前期

①いきいき体操、市体育課指導員②銅版画ときり絵、土方敬雄③書道、砂場佳陽④ア

ートフラワー、丸山いずみ⑤郷土の美術入門、各務周海

後期

①生活を彩るやさしい水墨画、吉村茂夫②みんなで歌おうなつかしい童謡、遠藤孝夫③紙彫画(きり絵)、土方敬雄④書道、砂場佳陽⑤アートフラワー、丸山いずみ

9年度前期

①太極拳、林美枝子②生活を彩るやさしい水墨画、吉村茂夫③いきいき体操、鶴飼洋子④書道、砂場佳陽⑤アートフラワー、丸山いずみ

後期

①生活を彩るやさしい水墨画、吉村茂夫②季節を楽しむ園芸、長瀬勇雄③いきいき体操、鶴飼洋子④みんなで歌おうなつかしい童謡、遠藤孝夫・石井温子⑤書道、砂場佳陽⑥アートフラワー、丸山いずみ

10年度後期

①生活を彩るやさしい水墨画、吉村茂夫②季節を楽しむ園芸、長瀬勇雄③みんなで歌おう懐かしい童謡、遠藤孝夫・石井温子④手作りパンとお菓子、細江まり子⑤書道、砂場佳陽⑥アートフラワー、丸山いずみ

11年度前期

①生活を彩るやさしい水墨画、吉村茂夫②初心者(の囲碁)上達法(囲碁愛好者交流会)、鈴木将司③手作りパンとお菓子、細江万里子④男が作るこだわりの料理、土方紀代子⑤アートフラワー、丸山いずみ⑥草花ウォッチング、市川廣利⑦ウォークの楽しみ・健康づくり、赤尾袈夫⑧シルバーのリフレッシュ体操、吉田宏子

後期

①みんなで歌おうなつかしい童謡、遠藤孝夫・池戸充子②初心者(の囲碁)上達法、囲碁愛好者交流会、鈴木将司④生活を彩る優しい水墨画、吉村茂夫⑤手作りパンとお菓子、細江万里子

⑥男が作るこだわりの料理、土方紀代子⑦アートフラワー、丸山いずみ⑧ウォークの楽しみ健康作り、赤尾袈夫⑨市内探訪見て聞いて、地元の有識者

12年前期

①手作りパンとお菓子、細江万里子②生活を彩る優しい水墨画、吉村茂夫③ソフトエアロビ、前田芳美④書道、安藤峰明⑤WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫⑥男性のこだわり料理、土方紀代子⑦出前講座に挑戦する講座、市職員他⑧草花ウォッチング、市川廣利

後期

①手作りパンとお菓子、細江万里子②生活を彩る優しい水墨画、吉村茂夫③ソフトエアロビ、前田芳美④書道、安藤峰明⑤WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫⑥男性のこだわり料理、土方紀代子⑦歌を歌って心晴れやか講座、水野辰夫⑧初心者(のパソコン)、田本勲子

13年度前期

①男性の料理教室、土方紀代子②木目込み人形、田口京子③手作りパンとお菓子、細江万里子④歌を歌って心晴れやか講座、水野辰夫⑤ソフトエアロビ、前田芳美⑥書道、安藤峰明⑦WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫⑦初めての水墨画、吉村茂夫⑧小中学生の囲碁講座、伊藤明

後期

①木目込み人形、田口京子②手作りパンとお菓子、細江万里子③心晴歌、水野辰夫④ソフトエアロビ、前田芳美⑤書道、安藤峰明⑥WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫⑦男性が挑戦する酒の肴、⑧男性が挑戦する新巻鮭、土方紀代子・古山栄一⑨小中学生の囲碁講座、伊藤明

14年度前期

①心晴歌、水野辰夫②ソフトエアロビ、前田芳美③手作りパンとお菓子、細江万里子

④WALK&TALK健康作り、赤尾袈夫⑤パソコン、西尾紀子⑥木目込み人形、田口京子⑦わくわくネーチャーウォッチング、赤尾友和⑧簡単なおやつづくり、今井さよ子⑨粘土でマスコットづくり、足立晴子⑩木工アート、小林一雄

後期

①心晴歌、水野辰夫②ソフトエアロビ、前田芳美③手作りパンとお菓子、細江万里子④WALK&TALK健康作り、赤尾袈夫⑤パソコン、西尾紀子⑥木目込み人形、田口京子⑦かな書道、市川恵一⑧フラワーアレンジメント、水野江身子⑨簡単なおやつづくり、今井さよ子⑩粘土でマスコットづくり、足立晴子⑪木工アート小林一雄

夏休み子ども講座

①明知鉄道に乗って保古用水を歩く、赤尾袈夫②竹細工に挑戦包ひもでかご、小坂 求③金魚つくり、渡辺美千代

15年度前期

①木目込み人形、田口京子②手作りパンとお菓子、細江万里子③WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫④心晴歌、水野辰夫⑤パソコン、西尾紀子⑥フラワーアレンジメント、水野江身子⑦日常のマナー、園原司世子⑧マスコットづくり、足立晴子⑨かな書道、市川恵一⑩ソフトエアロビ、前田芳美⑪簡単なおやつ作り、今井さよ子⑫わくわくネーチャーウォッチング、赤尾友和

後期

①木目込み人形、田口京子②手作りパンとお菓子、細江万里子③WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫④心晴歌、水野辰夫⑤パソコン、西尾紀子⑥フラワーアレンジメント、水野江身子⑦日常のマナー、園原司世子⑧かな書道、

市川恵一⑨ソフトエアロビ、前田芳美⑩マスコットづくり、足立晴子⑪父と子の料理教室

夏休み子ども講座

①東野西行伝説史跡をたずねて、千摩恵三②竹細工に挑戦、小坂 求③自然観察、草花とあそび、赤尾袈夫

16年度前期

①心晴歌、水野辰夫②WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫③郷土料理、土方紀代子④かな書道、市川恵一⑤パソコン、西尾紀子⑥フラワーアレンジメント、水野江身子⑦籐を編む、太田純子⑧クラフトテープで筆作り、渡辺美千代⑨日常のマナー、⑩ソフトエアロビクス、永野佳代⑪こどもクッキング、青山鈴美⑫わくわくネーチャーウォッチング、赤尾友和⑬救急救命、消防署職員

後期

①心晴歌、水野辰夫②WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫③かな書道、市川恵一④パソコン、西尾紀子⑤クラフトテープで筆作り、渡辺美千代⑥籐を編む、太田純子⑦プリザードフラワー、金森由美子⑧健康体操、鶴飼洋子⑨日常のマナー、園原司世子⑩子ども書道教室、市川恵一

夏休み子ども講座

①親子でチャレンジ木工教室、恵那市森林組合②東野山本風穴の探険、千摩恵三③保古用水を訪ねて、赤尾袈夫

17年度前期

①心晴歌、水野辰夫②WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫③かな書道、市川恵一④クラフトテープで筆作り、渡辺美千代⑤籐を編む、太田純子⑥エンジョイエアロビ、永野佳代⑦プリザードフラワー、金森由美子⑧郷

土料理、土方紀代子⑨チャレンジ！もの作り教室、赤尾友和⑩ナンシーのおやつレッスン、永野佳代

後期

①心晴歌、水野辰夫②WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫③かな書道、市川恵一④籐を編む、太田純子⑤エンジョイエアロビ、永野佳代⑥プリザードフラワー、金森由美子⑦ナンシーのおやつレッスン、永野佳代⑧男性料理（肴）、土方紀代子

18年度前期

①WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫②かな書道、市川恵一③エンジョイエアロビ、永野佳代④籐を編む、太田純子⑤押し花、安倍和子⑥プリザードフラワー、金森由美子⑦郷土料理、土方紀代子⑧東野ネイチャークラブ、赤尾友和⑨ナンシーのおやつレッスン、永野佳代

後期

①WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫②かな書道、市川恵一③エンジョイエアロビ、永野佳代④籐を編む、太田純子⑤いきいき歌声講座、林 精子⑥プリザードフラワー、金森由美子⑦ナンシーのおやつレッスン、永野佳代⑧アウトドアピザづくり、赤尾友和

19年度前期

①WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫②旬菜料理、土方紀代子③プリザードフラワー、金森由美子④アメリカンパッチワーク、橋本明日香⑤いきいき歌声講座、林 精子⑥リフレッシュ講座、吉田宏子⑦実用書道、市川恵一⑧東野ネイチャークラブ、赤尾友和

19年度後期

①WALK&TALK健康づくり、赤尾袈夫②アメリカンパッチワーク、橋本明日香③プリザード

ブドフラワー、金森由美子④いきいき歌声
講座、林 精子⑤リフレッシュ講座、吉田
宏子⑥囲碁を楽しもう、伊藤 明⑦実用書
道、市川恵一⑧おいしいおやつと簡単おや
つ作り、水野茂子

公民館広報から東野の歴史の一端を見る。

公民館たより100号の発行を記念して、公民館たより3号から最近号の中で、東野公民館史・東野史に関すると思われる記事を選んで列記してみました。私たちの住む東野の歴史を築いてこられた先輩たちのパワーをいただいて、この地の新しい歴史が刻められたらと思いました。何かの場面で少しでも参考になれば幸いです。

(一部文態を変更してあります。途中欠号あり。昭和48年以前の記事は特別に途中号から抽出したものです。)

・昭和八年に、大井く阿木間に明知線が開通し、大井、東野、阿木に駅ができた。それから四十一年間、四十八年に廃止になるまで、ふるさとの風景や人々の移り変わりをしながら蒸気機関車は走り続けた。

・昭和三十五年頃 東野青年団歌舞伎講演盛ん。

東野村芝居

東濃地方は、全国的にも、昔から地芝居の盛んなところとして名が通っている。中でも東野は格別評判が高く、江戸時代の末頃、村の庄屋であった伊藤家の日記に、芝居見物には近隣の町村からも親類縁者がやってきて賑わったことが記されている。東野の村芝居は、八坂神社の秋の祭礼に、氏子が余興として神前に奉納したことからはじまったようである。そうした素朴なお祭の余興であった素人芝居が、江戸時代末の嘉永年間に、村民の熱意と多額の基金で八坂神社の麓に「恵東座」という芝居小屋が出来たところから、益々隆盛に向い、村の大衆的な舞台芸能としての形と

内容を整えるようになった。その後、明治・大正・昭和と全盛期を迎え、舞台近くの伊藤さんの家では、歌舞伎の振付師と衣装の貸付を副業とされるまでになり、他町村からは「東野芝居」と称して、一目も二目もおかれるほどに成熟した。

『恵東座』は樺の太い柱や長い梁が見事で、見物客は一階と二階の桝席、舞台は回り舞台やせり上げを設け、花道にもスッポン(せりあげ)を備えた、当時の芝居小屋としては、近隣にない立派なものであった。

昭和48年10月第3号 東野公民館運営委員長 水野武夫

「豊かな心の交流を『せまい日本、そんなに急いでどこ行く』という標語が車に乗って国道へ行くと方々で目に入る。スピードを落とせ・・・という標語と比べて何か考えさせられる言葉である。

最近の世の中は進歩、消費を主体とした流れがすぎましい。社会の動きの回転の早い速度、企業生産のフル回転といったものが吹きあれ、もろもろの公害を表に出している。しかし、公害は物の面ばかりでなく「心の中」の荒廃の度を強めていることに事に注意する必要があるだろうか。心を吹き飛ばさず、もつとゆつたりと落ちついて味わいのある地域づくり、村づくり、いや、「つくり」というより今までの良い点の維持に努力すべきではないでしょうか。

そうした郷土の良い点を活かし、お互い協力し合う機会の糸口を見い出すには、公民館の活動即ち社会教育の活動こそただ一つの道であると思う。

人間はまず落ち着かなくてはならない。その点、現在の公民館活動の主体をなしている花、囲碁、習字、手芸、コーラス、その他の諸講座は熟練や技術面以上に人間の心をなごませ、落ち着かせ、人間同士親しみ合う機会を得ることにも一つの意義が見出せるものと確信しております。

現在社会はいろいろ矛盾した点もあると思いますが、総体的にはたしかに平和そのものであり、なんとなく生き、目的が無いのが今の世代であると思います。故に若い人々は車に乗ってぶつ飛ばすことに快感を得ることになってしまっている。

今一度静かに、豊かな人間同士の心の交流の場としての東野公民館の活動に、手を携えて参加されることを希望したい。」

昭和49年4月、第4号、東野公民館運営委員長

「ともすれば我が国の教育は、学校教育ばかりに偏重されて社会の一員ともなればすべての事終れりとされ、個々の教育を高めることにはさる冷淡でありました。

其の為に国の政治、産業、経済、貿易などの面にも其の欠陥があらわれてまいりました。これでは、世界の舞台において、仲間はずれにならざるを得ません。同じように、地域社会に於いても種々の弊害が出てまいったのであります。是れらの欠陥を是正し、社会人としての教育活動を最大限に発揮することこそ公民館の任務であります。吾が東野公民館も、公民館活動が始まって以来役職員一同目的達成の為に微力をつくしてまいりました。

公民館活動の主流である各種講座、講演・講習会等に百名をこす様な受講生諸君の集まりを見、早第三回の講座も盛大裡の終わろうとしている現状で、婦人会の活動、子供会の行事、最も盛んな体協の活動、又献血クラブの組織と献血等、良く東野住民としての自覚を持ち、助け合い、喜びもかなしみともに分かち合う美しい心を最大の宝としてかちとり得たことは、公民館教育成功の結果と考え、喜びにたえません。

近い将来公民館改築の計画もあると聞きます。それ迄不備な点の多々ある公民館ではございますが、多くの皆様がさそい合い、呼び合って、各種行事に参加され、自己の教養を高められるとともに、良い家庭、美しい郷土、そして、

日の丸の旗の如く美しく、富士山のこどく清らかな秀でたすがたの日本国となすべく努力しようではありませんか。

東野の皆様、益々公民館を大切に、社会教育を重視しようとお願ひする次第です。」

昭和49年10月第5号、

「公民館には鍵がかかっておりますので、使用される場合は、東野事務所へ鍵をかり、すんだら事務所へお返しして下さい。夜の使用の場合は、昼間の内に事務所へ鍵を借り翌朝かならず返却ください。2階の畳が新調されます。大切に使用して下さい。」(公民館使用方法)

昭和50年4月第6号、再出発する青年団活動の記事。

「長い間活動が低迷していた青年団が一部の青年によって発足し、新しい東野青年団として生まれ変わろうとしています。この青年団は人生の上で二度とない青春をすごしている青年たちの集まりです。日常生活の中で生まれる、色々な悩みや欲求を解決するために、仲間同士が意見を交換し合い、青年相互の親睦をはかり、各人の個性を理解し、幾多の力を合わせて、明日の明るい郷土発展にすることを目的にしています。」

毎週第一金曜日と第三土曜日を定例日と定めて公民館で会合していますから、青年のみなさん多くの友達を誘いあつて気がるに顔を出して他の仲間と話し合ってみませんか!」

昭和50年10月第7号、東野公民館運営委員長 渡辺忠雄

「今、東野では、各種の奉仕を目的とした団体が少しでも東野を良くし、明るくする為、色々と活動載いて居ります。」

即ち公民館には各種の講座が実施され、殆ど連日老若を問わず、自分の教養を高め、趣味を活かして居られます。婦人会は各種の活動を通じて、婦人学級の成果を挙げつつあります。又新生した青年団員は、約30名の若い力で明日

の明るい郷土発展の為頑張っている。

体育協会は旺盛なる実行力に依り各種のスポーツを通じ、余暇を作成し、自分で楽しむスポーツと化しつつあると思ひます。

永年の伝統を有する消防団、然り、交通安全然り、地域内に14部会を有する子供会然り、其の他全ての団体が誠にスムーズに活躍されつつあることは、その貫く精神が奉仕の精神であるからと深く信じます。

一つの会が何事を計画するにも経費のかかる事は勿論であります。然し反対もあり、種々障害もあると想像できますが、その壁を破つて、成功に導いて居るものは、あく迄もボランティアの精神以外にはないと信じます。

これ等各種団体の御奮闘に心から感謝し敬意を表します。次に住民各位にお考え願ひたいことが御座います。市の計画に依りますと、昭和52年頃に東野公民館を、又昭和53年頃に学校をそれぞれ新築となつて居る由で御座います。その場合、どの程度のものにするか、配置をどうするのか、資金をどうするのか等について今から皆様の御意見、御指導を得たいと思つております。併せて昭和53年完成予定の保古の湖国民休暇村もその運営を如何にしたら良いか、皆様の御知恵を拝借したいと思ひます。」

昭和53年4月 地域住民待望の公民館が、地区公民館として再出発した。

昭和57年

- ・納涼東野夏祭り第一回開催。
- ・11月3日から4日、東野公民館5周年記念の文化祭実施。各家庭に秘蔵されている「書」「画」「工芸品」等を展覧。
- ・天王前不燃物収集所完成、以前より地元利用者から要望のあった、不燃物置き場がこのほど完成した。これは関係者において用地の承諾を得、建設費は全額市において建設

したもので、今後は収集日の2日前に自治会長さんにより門戸が開かれる。

- ・阿木から大井線に信号機完成。光岡商店前に信号機が設置された。交通量の増加に伴い、通勤、通学による横断の最も多いこの位置に設置されたもので、この信号は手押しボタン操作により通行を表示するものです。

昭和58年

- ・公民館審議委員が教育委員会から委嘱された。東野公民館における各種事業の企画、実施について調査審議する機関。

- ・青少年育成会議は、青少年の健全育成を目指し、今までの各種関係団体の組織に加え、今回自治会、この推進委員により小集会を目指した。向こう3軒両隣から自治会へさらに東野地区全体へ発展。1、あいさつ運動 2、朝掃除・花いっぱい運動 3、小さな親切運動、こんな話題から始めよう。

昭和59年

- ・実行委員会による「東野明治期の難まつり」が計画された。展示品 土人形等100点と明知線鉄道展。
- ・東野に一つの名所あり、場所は恵那総合庁舎の西の農道脇である。ここに上大門の市川義晴さんが数年前から自家生産野菜を「どうぞご自由に持ち帰りください」の立て札と無人の野菜台がある。今年の8月には「NHKの昼の憩い」で取り上げられ、全国放送された。
- ・今年も小学校4年の皆さん30人が公民館の仕事の勉強に來てくれた。

公民館は何のためにあるのか、公民館と地域の人の結びつきなど10項目以上の質問があつた。

昭和60年

- ・9年度婦人会役員20数名で公民館の掃除をしてください。
- ・8月から一週間東京の成城大学と岐阜女子大学が合同で、東野の歴史・風土・経済等の調査に入った。公民館運営委員がこの調査活動を後援した。
- ・ふるさと東野の歴史や伝統、寺院、古跡を研究し、先人の生活の変遷等を調べ、郷土史家やその道の先生を招いて話を聞いたりするグループ活動をしたというの声があり、新しいグループの募集をした。

昭和61年

- ・東野で初めての本格的な教育講演会が開かれた。講師は長野県篠ノ井高校の若林繁太先生で、登校拒否、いじめなどの問題をテーマにして子育ての実践論を約2時間にわたって熱く講演された。聴講者は約300人余りでした。主催は東野青少年育成会議でした。
- ・小学生の皆さんと老人クラブ役員のご協力により東野小体育館で、子ども会育成会の主催で、幼い子ども達がなれない手つきで縄をなったり、ぞうりつくり挑戦したりして半日をすごした。
- ・東野青少年育成会議が61年度事業として計画した挨拶運動を広めるための標語塔が、農協下の道路面に設置された。この標語は東野小学校児童及び父母の方々より募集した中から3点の言葉を選択したものです。一、挨拶は、心と心のかよいあい。二、だれとでも、笑顔で気軽にあいさつを。三、かけあうあいさつひろまるなま。

昭和63年

- ・東野小学校では、長谷川多平さんから50組みの竹馬をいただきました。始めは2年生になる孫の組へということでしたが、1組分に増え修理補充ということで何度も学校へ来てくださって、今では50組にもなりました。竹馬ができてからは、寒い冬でも競争で外へ出て竹馬に乗り、乗って

いる子、ついて歩いている子、空くのを待っている子などで運動場は一杯であった。

- ・東野夏祭りに東野音頭と東野小唄が復活する。

7回目を迎えた夏祭りが盛大におこなわれた。東野音頭と東野小唄が盆踊りに組み入れられ、なま伴奏であったので、夏祭りを盛り上げることができた。

昭和22年3月、農業立国推進連盟春季大総会宴会席上にて、余興として、西尾利一氏が発表されるのを、他日市川廣利氏が西尾氏宅に私伺し、口伝を耳に止め曲に編んだ。昭和22年4月のこと。これが東野音頭誕生のいきさつです。故西尾利一氏の唄われるのを懸命に覚え、あるいは修正し、おはやしを書き加え楽譜にしたその苦労が、41年をへた今日でもはつきりと覚えております。振り付けは、小唄音頭ともに土方嘉章氏と覚えていきます。

昭和24年4月に西尾利一氏が作詩した東野音頭を作曲した直後、何気なく弾じた節の我が意になつたところを帰って書きつらねたのが東野小唄誕生のいきさつです。

平成2年

- ・永年の懸案であった社会科資料（東野の古い道具類）の保管のため建物（プレハブ）が完成した。東野開発振興会はじめ諸団体、元PTA会長、昭和63年度実行委員会の協力によるものであった。

資料館の内容は、養蚕（蚕種）具と農具（民具）を中心に（一部生活用具を含む）展示された。

- ・東野の子どもが少なくなった。

	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成2年4月
人口	272	186	144	149	138
割合	13.06%	9.85%	8.00%	7.95%	7.43%

平成3年

- ・東野歌舞伎復活。

「さる9月15日の敬老の日に講演しました東野歌舞伎には、たつた一幕（太閤記十段目、尼崎閑居の段）でしたが、お年寄りをはじめ住民多数のご観覧と熱いご声援をいただき誌上をかり心より厚く御礼申しあげます。25年ぶりに村芝居を復活し上演することに、はじめは、はたして多数の方に受け入れられるかどうか大変心配いたしましたが、結果は大方のご好評を得られましたように、保存会としても嬉しく思い意を強くすることができました。」

平成8年

ふるさと図書館（ドウダン文庫）
「季節を楽しんだり、健康づくりに取り組んだり、身近な暮らしのなかに本を活用してみたいかがですか。東野公民館のロビーに中央図書館の本がきています。定期的に入れ替わりますので、ぜひご利用ください。」

平成10年

東野養蚕・蚕種の碑を建立
去る5月30日に明治、大正、昭和と農業の支柱であった養蚕と、全国その名を広めた東野蚕種製造を記録するために記念碑が建立された。

平成13年

- ・第4回目の東野音楽祭。永野清子さんの熱唱ほか。
- ・東野地区農業集落排水事業が開始され、集落排水管理組合事務所の開始にあたって神事が行われた。管渠（元管）の事業開始（3月～9月）。それ以後支線に着手。完成は17年4月の予定。総工費約23億円。地元負担は7%。
- ・明知鉄道沿線に植樹することによって、地球環境に優しく、利用者の見る目にうれしい雰囲気を送るために、東美濃広域経済協議会が計画実施した。
- 東野駅には商工会議所中津川法人会、ロータリークラブが

ら24人、東野振興会役員、東野東雲連合会、東野公務員0B会、東野自治会長等36人によって植樹された。

植えられたのは、ハナかえで、10本、ドウダンツツジ300本、桜5本山ツツジ1000本にも及んだ。

・戦没者慰霊塔の大改修が行われ春風強靱の中しめやかに戦没者を慰霊し、平和の願いが唱えられた。

平成14年4月 学校完全週5日制がスタートする。

・21世紀を担うために、たくましく生き抜く力が必要です。子どもたちが自分で考え、判断し、行動する力や豊かな人間性をつけることが大切です。そのためには、学校・家庭・地域社会の役割を見直し、それぞれが責任をもって子育てに取り組もうではありませんか。(恵那市立東野小学校)

平成15年、公民館トイレが改修される。

・(年度内) 築後25年になり、排水機能の低下による。限られた予算とスペースでの改修であり、男女の出入り口の同一 はやむを得ないため、男子トイレの正面を遮断する。

今後の公民館の役割

団塊の世代といわれる人々が定年退職してそれぞれの地域に帰る二〇〇七年以降の数年間、日本全体にとっても各地域にとっても、大きな意味をもつ年月と考えられています。

この世代は「昭和22年から26年頃までに誕生された人々」を指し、堺屋太一さんの著作「団塊の世代」に初めてこの言葉が登場しました。

第二次世界大戦後の数年間、空前のベビーブームといわれた時代に誕生された人々の世代です。

かたや、戦後の3年間で生まれた日本人はその直前より20%、直後より26%多いといわれます。まさに人口の爆発でした。

しかしこの世代の人々が現代の日本の繁栄を築いてきたと言つて過言ではないでしょう。受験戦争、学生運動、ジープ、ニュー・ミュージック、核家族といった時代を経ながらも、一身を粉にして働き、企業戦士となって、昨今にみる日本の繁栄を築いたのです。

この日本の経済を支えてきたと言つてけつして過言ではない人々の、第二の人生へ向けた取り組みが各地で少しずつ始まっています。団塊の世代の人たちの中には、第二の人生を地域にもどり、生きがいをもちながら有意義に送りたい。また長年培った技術や経験を地域の中で生かしたい、社会に貢献したいと考えている方も多いと思います。

しかし、そのきっかけがつかめず、またその方法がわからずにいる人たちが多いのではないのでしょうか。

そこで、地域の人たちが「つどい、まなぶ」公民館が一層重要な役割を果たすことになります。

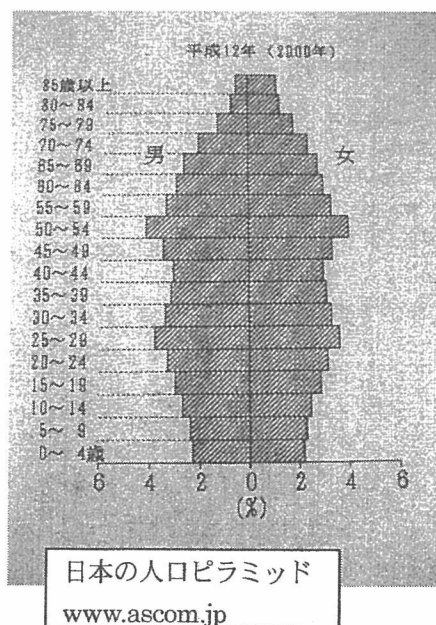
では、公民館における取り組みの現状はというと、「男性の料理教室」「男の包丁クラブ」などの講座は全国的に増えてきたと聞くものの、全体的に言えばまだまだ少ない実情のようです。恵那市も同じ課題をもっていると思います。また、同世代の人たちが地域の人たちとつながることをねらった行事・事業が少ないのも現実です。

東野公民館もなんとか、この世代向けの、男性向けの講座を取り入れたいと考え、第一弾として、元東野公民館長の伊藤 明先生にご協力いただいて、「囲碁講座」を立ち上げることができました。もちろん女性の方も若者の参加も大歓迎です。

どうか東野住民のみなさん、第二弾の立ち上げのために、良いお知恵をお寄せください。お待ちしております。

これまでも企業や社会の厳しい荒波の中で生き抜いてきた人たちが、色々な施設・施策を活用してまずは人生を楽しみ、色々な活動にチャレンジし、結果としてすこしずつでも地域に役立つことができれば、新しい生きがいも生まれてくることでしょう。

公民館長



[illegible]

-10-

第62回終戦記念日を偲ぶ

懇親会昼食会の開催



先の大戦の終戦記念日である八月十五日に、東野郷友会と東野東雲連合会の主催で、同志が相集いそれぞれ思い起こして語る会が開かれました。

主催者の、東雲会の西尾会長さんが「年に一度は当時の戦争を思い、今の世に何を伝えていかなければならないかをこの懇談会を通じて考えたい。・戦後の方々が社会の主流になり、戦争を知らない方が段々に増えてきた中、戦中戦後を生きた生き証人として戦争を起こさないように《すいとん》を食しながら戦中戦後を偲びたい。」

同郷友会の伊藤会長さんが「終戦記念日を迎え、本席に一言御礼を申しあげたい。そして先の大戦で犠牲になられた英霊に心からお悔やみを申し上げます。」

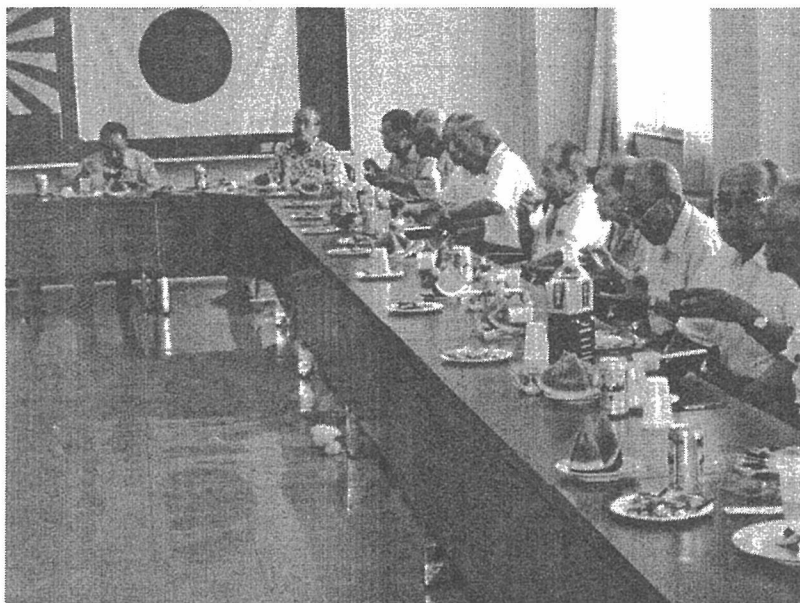
郷友会も六十二歳になり、三十八名になりました。・。・。そして、樺太、台湾、朝鮮にかかわ

ても、この敗戦はなんであつたのか、と。

来賓を代表されて光岡市議会議員さんが、「戦争知らない世代が大半を占める。日本の経済が発展したのも、御霊の賜物と感謝しなければ。」

日本は世界にただ一つの被爆国として、世界の核を廃絶していかなければと私どもは認識しています。過去を忘れず後世に引き継いでいかなければと。・。・。それぞれ挨拶されました。

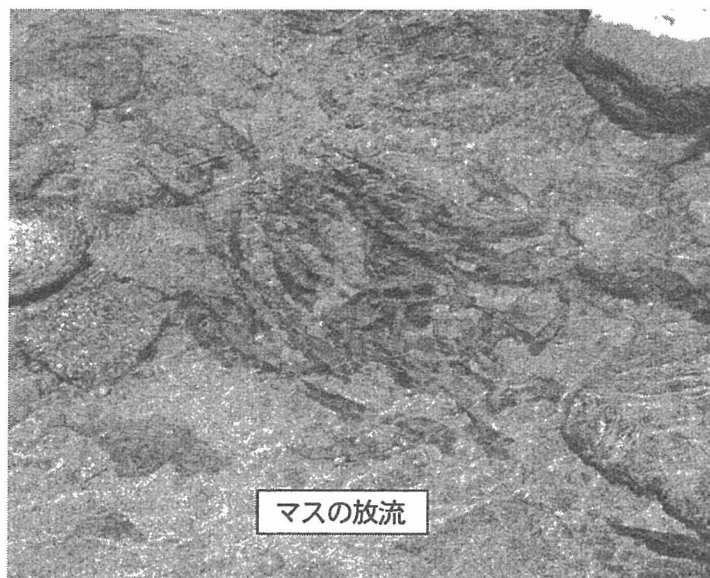
この後、サイレンを合図に、戦没者に黙祷を捧げ、東雲会の心づくしのすいとんを、おいしくいただきました。



夏休み、飯沼川に子どもたちの歓声が！

八月二十五日（土）東野飯川下橋戸橋上流（中日サンクリンさん前）で東野子ども会育成会・東野小学PTA・東の青少年育成会議主催による、恒例の「川遊び」が実施されました。

好天にめぐまれ、事前に、「飯沼川を愛する会」



マスの放流

の方々によって草刈等できれいにしていたいた川を金網で仕切って、300匹のマスト、5kgのウナギが放流されました。

小学生が小学校奉仕作業終了後、保護者に付き添われて川に到着し、マス釣りとうなぎの掴み取りの2班に分かれて早速川遊びに挑戦し、大歓声がいい沼川に響きました。

今年はマス釣りが不調でしたが、それでも最後までにはウナギもマスも採りつくしたようです。家族の人数分まではと頑張った子ども、最後はお父さんにアドバイスを頼んだ子、女の子の男の子に負けず頑張った子など、それぞれに、とても楽しいひと時が過ごせました。

子どもたちは、川の楽しさ、怖さ、魚釣りの面白さ、難しさを皆さん経験できたと思います。

青少年育成会運営委員・推進委員の方、子供会育成会・小学校の先生方準備からあとかた付けまでご苦労様でした。飯沼川を愛する会の方有難うございました。



ウナギの放流



マス釣り



ウナギとマスのつかみどり



マスが釣れた



飯沼川下橋戸橋からの川遊び遠望

平成十九年度東野地区敬老会開催される

九月十七日(月) 十時三十分から

於 東野公民館

開発振興会主催・東野各自治会女性代表協力による見出しの「敬老会」が開催されました。

案内が出された、二百二十五人の中で九十七人の出席者を得、来賓多数の列席のもと、盛大に開催されました。

古屋衆議院議員さん、水野県議会議員さん、可知恵那市長さんがお祝いに駆けつけていただき、それぞれお祝いの言葉をいただきました。

市長さんからは、八十八歳になられた八人のかたにお祝いの記念品が贈られ、代表して市川義晴さんがお受け取りになりました。

この後、敬老会の方たち全員で記念写真を撮り、開会となりました。

開発振興会の千藤会長さんが、「明知線東野駅に建設される高齢者福祉施設建設の同意、白坂の開墾碑協の交差点改良工事に伴う記念碑の移動、東野袖畑・笠作線、清水・山ノ寺線の道づくり計画について触れられ、こんなことを話題にしてください、つづいて、市福祉協議会の松本協議会長さん、光岡市議会議員さんから、お祝いの言葉がありました。

次に、七十七歳で、敬老会の会員になれる二十三人を代表されて、伊藤祐道さんが、「敬老会の案内をいただき、新人生。皆さんと一緒にロマンを求めながら、恵那市民としてお世話になったことにご恩がえしをしなければ。」とご挨拶がありました。

会食に入って、年に一度再会の人もあり、交流や会話に和やかな団欒のひと時がすぎました。

途中、ささゆり会の踊り、「能登麦屋節」他、詩吟、西尾栄子さんの「古城」他、大須演芸の歌謡ショーが、大いに会場を盛り上げました。

八十八歳(米寿)を迎えられる方

(大正8年4月1日から9年3月31日)

小野川 光岡 時子

白坂 勝野 春子

白坂 千藤 清子

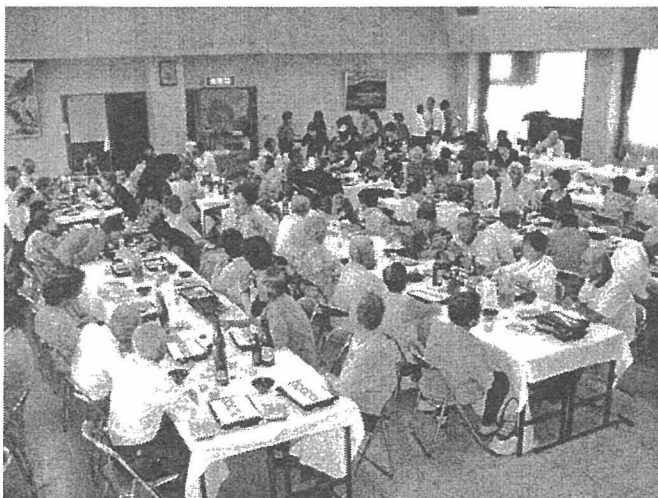
井の下 土方 勲子

北中切 鷹見 光枝

下沢 鈴木 富貴

下染戸 渡邊 浩光

北山 市川 義晴



入賞おめでとう

「夢の橋」アイデア満点

恵那でつくる橋コンテスト

最優秀賞に東野小学校の森絵里奈さん

このコンテストは、国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所が主催。子どもたちに道路と橋の役割を理解してもらうことなどを目的に、平成十一年度から毎年東濃五市を順次、それぞれ五年生を対象に「道路ふれあい月間」の八月に作品を募集しています。

今年には恵那市の小学校五年生が対象で、「私が考える夢の橋」のテーマで作品を募集したところ、市内の十校から二百五十三点の応募がありました。

同事務所や市教委によって選考の結果、最優秀賞に東野小五年生の森さんが考案した「カラフルトンネルブリッジ」が選ばれました。これら作品展示は、恵那文化センターで九月十七日までの三日間行われ、十六日に同センターで表彰式が行われました。入賞者は二十五名で、この内、東野からは次のとおり七名が入賞しました。

最優秀賞

森 絵里奈 カラフルトンネルブリッジ

優秀賞

伊藤 紗希 夢の美術館橋

夢の橋賞

西尾美知花 水中パークブリッジ

美術デザイン賞

足立 恵美 た橋

〃

長谷川 咲 SUNSUNハイウェイブリッジ

構造デザイン賞

鈴木 翔太 スタートレインブリッジ

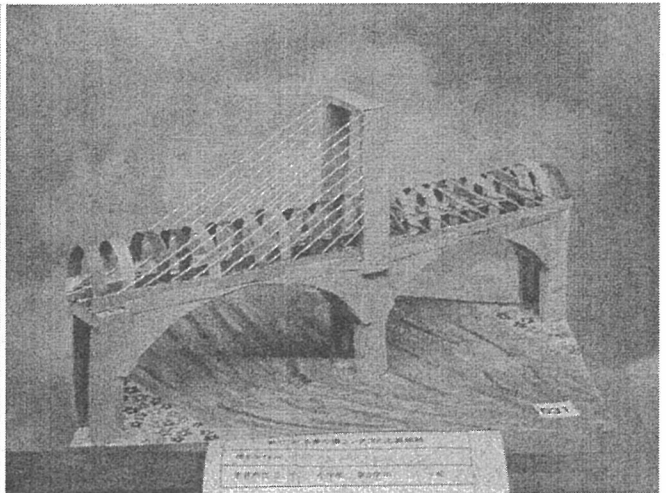
〃

下田紗由美 コンパス橋

右の最優秀賞、優秀賞の二人の作品は十一月七、八日開催の中部建設技術フェア（名古屋ドーム）で展示されます。



最優秀賞の森 絵里奈さん



作品「カラフルトンネルブリッジ」

ENAみのじのみのり祭原画公募に

東野小学校 足立紗穂さんが特選に入賞

平成十九年度ENAみのじのみのり祭のポスターづくりに採用される原画の公募に応募され、みごと特選に入賞されました。この公募には小・中・高生と一般から百七点の応募があり、十二点が入選し内一点が足立さんの特選入選となりました。

九月二十二日、バローの駐車場のみのじのみのり祭り特設会場で表彰式がありました。

足立さんを含む十二名が特設壇上に登り、祭りの実行委員長から賞状が、恵那レンジャーから記念品が授与されました。賞状は恵那市長可知義明祭り名誉会長と木下晃一実行委員長名で出されました。



特選 足立紗穂さん

恵那市市民講座

夏休み子ども講座2講座が開講されました。

▼ おいしいパンとおやつ作り

期日8月1日



赤ちゃんの
肌のようにや
わらかい。
生地をこね
こね。
うれしそう。



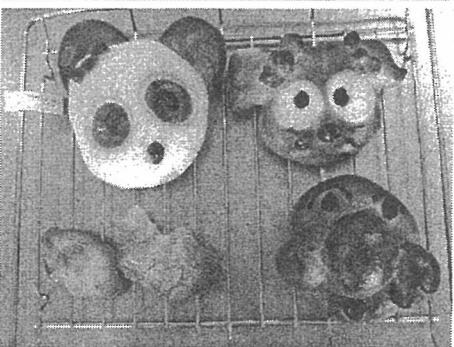
顔になる
あんこ、うま
く、つつめた
ね。



たまご ち
よっとぬりす
ぎて、顔が黒く
なりました。



いろいろ
形をつくって
います。一番楽
しいところ。焼
きあがり楽し
み。



かわいいパ
ンダ、アンパン
マン、イヌ上手
にできて、楽し
かったです。

▼ 青空クッキング～手作りピザを作って見よう。～

期日8月4日



講師の先生
の説明を真剣
に聞いていま
す。このあと
生地つくりと
その養生です。



さあ！班に
分かれて火お
こしです。な
かなか難しい
ですが、一生
懸命です。



火おこしの
あと、生地
の上に、ハム・
野菜などの具
をのせていき
ます。



自分たちで
おこした火で、
ドラム缶オー
ブンで焼き上
げです。待ち
どおいしいな。



いよいよで
きあがりです。
早く食べたい
な。でも皆ん
なで一緒。

← 見てください。こんなにおい
しそうにできました→



東野公民館のサークル活動の紹介 [I]

サークル活動頑張っています。

▼ 籐を編む

江戸時代から籐職人は活躍しており、弓の



矢筒などを籐で作ったとのこと。

籐は日本には、植物園でしか見られない植物で、南洋のジャングルに生えているつる性植物。太いものを鉄板などの穴を通すことで均一に削って材をつくる。そしてこの材を使うときは水に浸して柔らかくして使用する。

製品づくりに一心に取り組んでおられました。

▼ こぶし太極拳愛好会

平成5年恵那市民講座として開設され、4年間この講座が開講された。その後社会教育活動団体として約10年間活動してきました。

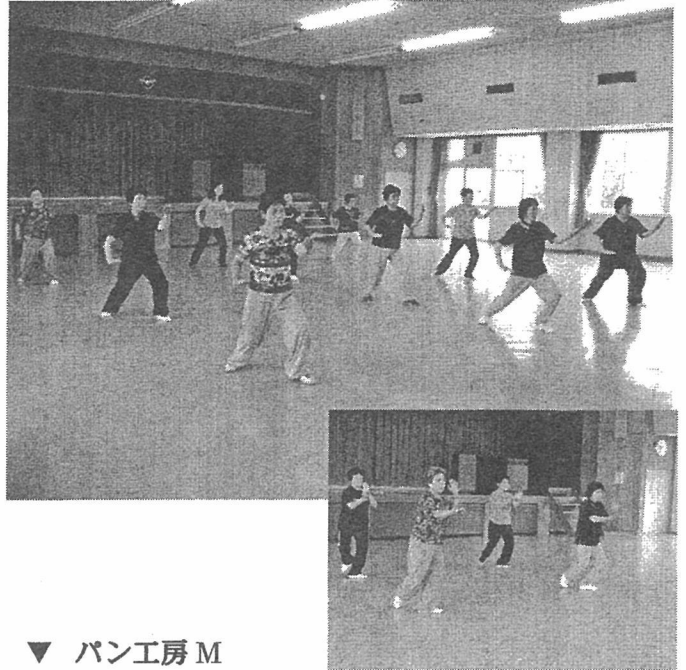
活動は、まずストレッチ運動と腹式呼吸をして気の流れを良くして太極拳を始める。

太極拳は「心の体操」といわれ気「意念」で体を動かす。武術を元につくられ、一つ一つの動きに意味があり、戦いの相手が目の前にいると思いながらの動作をする。

会員の皆さんは、「膝が痛かったが、太極拳をはじめて股関節が柔らかくなり、膝の痛みが無くなった。」「転倒防止になる。手と足を逆さ方向に動かすので脳の刺激にもなり老化防止にもなって、お薦めの体操で

す。」と言われました。

先生は「太極拳」のお陰で健康になれたので、多くの方にこの良さを伝えたい。」と言われます。入会の希望があれば、水・金の午前中に体験日を設けていただけます。



▼ パン工房 M

少し前までは家庭でパンが焼けると思っていた人はごくわずかでした。このパン教室は無添加で安心して食べられる家庭でのパン作りの基礎を学ぶことをモットーにしています。

技術も必要ですが、大切な人に美味しいパンを食べて欲しいという思いと心が大切ではないでしょうか。つくることによって、人との出会いが広がって、共に学ぶ楽しさが喜びとなり、生涯学習に通じれば幸いと思います。大勢の方の参加をお待ちしています。



掛け軸一幅 「楠木公桜井」の別れ

町野華城 画

公民館の一階ロビーのショーケースに納められている掛け軸は、地元久須見生誕の画家、町野華城の画とお聞きした。箱書きにも雅号がある。

岐阜県の生んだ先人顕彰二十一人の一人前田青

邨と世代を同じくして、青邨、華城は東京へ出てともに本郷に住み、華城は松本楓湖に師事し、清邨は梶田半古に師事した。華城は後に地元へ帰り、画家としてそれぞれに活躍された。

青邨さんは、写真集で観ただけであるが、正確なデッサンに裏づけされた、精密な画法でと評価されやはり、武者絵を描かれている。特に時代絵を描くためには歴史を学ぶ必要があると考えて、大学で歴史の勉強をされ時代背景を確かにされて描かれたとお聞きしている。

華城さんの「楠木公桜井の別れ」は真筆で、シヨ

ーケースにひっそりと納められているが、公民館に勤めて軸をみて驚きました。素人眼ですがすばらしい絵とと思いました。精密で、しかも立体感が自然で、いつま



で眺めても飽きない絵と気に入ってしまいました。

一三三六年湊川の戦い前に西国街道の桜井駅、現在の大阪府島本町において、行われたとされる楠木正成・正行（まさつら）親子の今生の別れを題材にされた。この題材は敗戦までは、日本の国語や修身の教科書に掲載されており、当時の人々には有名であったと聞きます。

数え十一歳の正行に、自分は大軍足利尊氏と戦うがおまえは朝廷の後醍醐天皇に忠誠を誓うよう諭す場面である。(Wikipedia) (恵那市史)

公民館長

恵那市の移動図書館(東野)です
みなさん活用してくださいね。



文芸

花無山句会 (八月句会)

米寿過ぎ勲章の秋は暑かりし
市川茶山
二歳児が笑いの主役盆休み
市川芳子
乾坤のゆれるとどろく大花火
伊藤道子
振返る人生航路や終戦日
西尾美恵子
大夕焼あすも残暑のきびしう
土方ちかえ
ひらひらと黒かげろふの羽団扇
松本はるか
昨日今日裨取り続く二反農
千藤恵三

サークル短歌 (九月)

鈴木喜一郎

絶えず独り今年も見送る川花火
天空でなく水平に有り
水に散る花火の終わりは見えねども
まんまるく咲くと火玉は登る

市川茂子

森の中友の案内湿原は
シラタマホシクサ秘密の在り処
壊される大きな家を眺めおり
住みいし人の面影浮かぶ

赤尾繁夫

新道と旧道交わる峠道
古道探して越えたる日あり
村里のお堂に盛る百日紅
草取り終えて饅頭タイム

東野体協コーナー

東野体育協会発行

本年度の7月から9月の行事の結果を報告します。
○第19回レクレーシオンバレーボール大会

9月15日(土)

レクバレーは、バレーの経験のない方でも気軽にできるスポーツとして普及していますが、今大会も回を重ねて19回目となりました。今年は白熱する試合が多く、3セットまでもつれる試合が続出でした。そんな中で接戦を



優勝6分団

制し優勝したのは6分団。ゲーム後、ビンゴゲームを行い最期まで笑いの絶えない大会となったことは、東野レクバレークラブの皆さんの支援と参加者の協力のおかげと感謝申し上げます。
▼優勝 6分団 2位

5分団 3位 7分団 4位 3上分団 5位 3下分団
6位 2分団 7位 1分団 4分団
○第2回恵那市市民体育大会夏季大会

今年で3



バドミントン



ソフトボール壮年

猛暑の中で東野の代表選手として一生懸命がんばっていただきました。出場した種目・参加した選手・成績は次のとおりでした。
○軟式野球 10位 ○ソフトボール 3

テニス 3位



クレ射撃

位○バ
ドミン
トン2
位○ア
ーチェ
リー
2位○
クレ
射撃
8位○
ソフト

○今後の行事予定

本年度の住民大会も残すところフットベ
ース大会のみとなりました。東野住民の皆
様には、健康と親睦のため、推進委員のお
誘いがありましたら積極的なご参加をお願い
いたします。

○第3回フットベースボール大会

日時 11月11日(日)午前8時50分から

場所 東野小学校グラウンド

*フットベースは、誰にでも参加できるスポ
ーツです。特に女性の出場は得点にアドバン
テージがあります。多くの住民の方々の参加
をお待ちしております。

お知らせ



後期市民講座はじまります

申し込み可能の講座もあります。
詳しくは、東野公民館へお問合せください。

講座名	講師名	募集対象	回数
Walk&Talk 健康づくり	赤尾袈夫	一般	10
アメリカンパッチワーク	橋本明日香	一般	10
プリザーブドフラワー	金森由美子	一般	5
いきいき歌声講座	林 精子	一般	10
リフレッシュ体操	吉田宏子	一般	10
実用書道	市川恵一	一般	10
囲碁を楽しもう	伊藤 明	一般	10
おいしいパンと簡単おやつ作り	水野茂子	子ども	5

休館日

(変更の場合あります)

10月 1日・9日・10日
15日・22日・29日
11月 5日・12日・19日
24日・26日
12月 3日・10日・17日
25日・26日・28日～31日

文化祭関連行事

◆東野歌舞伎◆

と き：10月28日(日)
10時30分開場

11時 開演

ところ：東野小学校体育館

入場無料

◆東野ふるさと音楽祭◆

と き：11月4日(日)

13時開場 13時30分開演

ところ：東野小学校体育館

整理券300円

公民館にあります

◆東野文化祭(展示物)◆

と き：11月3日(土)9時～18時
11月4日(日)9時～16時

ところ：東野公民館

作品の出品にご協力ください。「こんなもの出してみたい。」という方、公民館又は、各係りまで連絡ください。

詳しいことは、9月15日に市広報とともに配布した文化祭チラシをご覧ください。

◇東野住民ふれあい体育祭◇

と き：10月21日(日)9時～

ところ：東野小学校グラウンド

雨天中止

お知らせ

東野文化祭 11月3日(土)・4日(日)
東野文化祭実行委員会より

Ⅱ特別展Ⅱについて

今年度は、昭和30年代に着用・使用していた衣類・生活・遊びに関係したものを展示することにしました。

お願い

◎昭和30年代頃の衣類(例えば、当時着用していた着物・服・ズボン・しもふり学生服・帽子・財布・カバン・いすみ・入れ物など)、遊びに関するもの(こま・お手玉・パンパン・魚びん・受けなど)

◎遊び(こままわし・ハーモニカ吹奏・お手玉遊びなど)の達人の推薦

以上のことについて該当する物品や人物を提示・推薦してください。

連絡先：東野公民館または、

地域の東雲会の役員の方へ

期 日：10月25日まで

